

学習者による学習者のためのモバイルラーニングコンテンツ開発

Mobile Learning Content Development by Students, for Students

汪 曙東^{*1}, 岩田 淳^{*2}, 廣瀬 浩三^{*3}
Shudong WANG^{*1} Jun IWATA^{*2} Kozo HIROSE^{*3}

^{*1*3} 島根大学外国語教育センター

^{*1*3} Center for Foreign Language Education, Shimane University

^{*1} Email: wangsd@soc.shimane-u.ac.jp

^{*2} 島根大学医学部

^{*2} Faculty of Medicine, Shimane University

Email: j_iwata@med.shimane-u.ac.jp

あらまし：本取組では、学習効果の高いモバイルラーニング教材開発と、組織的な教材開発体制を整備する目的で、学生の発想や能力を活かした教員と学生の協働体制によるモバイルラーニング教材開発の実践を行った。本取組みでは、携帯電話やスマートフォンなどのモバイル端末に発信する英語エッセイや、英語語彙・文法クイズなどのコンテンツは、原稿の作成から発信までのすべての段階で学生が主体的に関わり、教員はアドバイザーとしての役割を務めたが、本取組みやコンテンツに対して、学習者から高い評価を得た。本稿においては、半年間にわたって行った「学習者による学習者のためのモバイルラーニングコンテンツ開発の取組内容と評価について報告する。

キーワード：学習者主体、モバイルラーニングコンテンツ開発、教員と学生との協働、英語教育

1. はじめに

近年、スマートフォンに代表されるモバイル端末の開発技術が急速に進展し、様々な優れた機能が装備されるとともに、通信ネットワークの高速化が進んでいる。Wi-Fiの無線環境も、家庭、大学のキャンパス、大学生のアパートにも設備され、携帯端末を利用したモバイルラーニングの環境が整いつつある[1]。しかしながら、PC利用のeラーニング環境と比して、モバイルラーニング用のコンテンツは、学習者のレベル、ニーズ、学習特性に合致するコンテンツが少ないのが現状である。

このような背景から、本プロジェクトでは、英語学習モバイルラーニング教材の組織的な開発体制の整備とともに、学生の発想や能力を活かしたモバイル教材開発手法を取り入れた教員と学生の協働[2]による英語モバイルラーニングコンテンツの開発を平成23年度10月から半年間試行した。

2. 学生を主体とするモバイルラーニングコンテンツ作成と配信の流れ

10月には本プロジェクトの担当教員は、開発するモバイルラーニングコンテンツの種類、対象学生、レベル、使用ソフト、発信方法など入念に打ち合わせを行い、その後「モバイルラーニングコンテンツ作成アシスタント募集要項」を学生に掲示し、全学からコンテンツ作成アシスタント（以下「アシスタント」と記す）の募集を始めた。各学部から大学院生と留学生を含む10名の学生の応募があり、応募した学生を各自の希望に沿って、「エッセイグループ」、「文法クイズグループ」、「語彙・ことわざ・名言集グループ」、「開発技術グループ」のアシスタントに配置し、各グループのコンテンツ作業内容を明確に

指示した。

また、2人の外国語教育センター教員に、アシスタントが作成したコンテンツの編集を依頼し、打ち合わせにより、日本人教員が文法クイズ、語彙知識に関するコンテンツの編集を、ネイティブの教員がエッセイの編集の担当を行うことを決め、コンテンツを編集する際の原則や作業手順などを確認した。

12月には、教員と学生コンテンツ作成アシスタントの間で円滑なコミュニケーションが取れるようにインターネット上でGoogleグループを作成し、プロジェクトに関わる教員と学生のPCおよび携帯電話のメールアドレスを登録することで、プロジェクトに関する情報や連絡が随時各人に届くよう配慮した。また、作成したコンテンツは、アシスタントからメールで提出させていたのを、教員の編集作業をより円滑に行う目的で「コンテンツ作成アシスタント交流場」というプロジェクト専用の“Moodle”コースを立ち上げ、Moodle上で、コンテンツの提出と教員の編集作業が簡単にできるようにした。(図1, 図2)

12月には、第1回目となるモバイルラーニング用コンテンツを、以前実施した「島根大学外国語教育センターユビキタス英語学習プログラム」に登録した約200名の島根大学大学生のモバイル端末とPCメールに向け発信した。その後、受信者からのコメントや感想等のフィードバック、ランキング情報を参考にしながら、翌年の3月まで計30回コンテンツの発信を行った。

